

高尾森林ふれあい推進センター森林ふれあい推進事業（協定イベント）

「山の日」制定記念イベント

ハイキングと植物観察

実施主体：特定非営利活動法人 森とでんえん倶楽部

森とでんえん倶楽部では、関東森林管理局（高尾森林ふれあい推進センター）との協定イベントとして、11月2日に高尾山日影沢キャンプ場で小学生の親子を対象とした今年度最後の「ハイキングと植物観察」を森林インストラクターの指導の下、開催しました。参加者は、当初30名の募集でしたが、 Deng 熱騒動の風評もあったことからキャンセルがあり12組24名での実施となりました。

午前のハイキングは、まず出発前の準備運動として、足を使ってのジャンケン体操と恒例の森とでんえん体操を行い出発。コースは、キャンプ場から「いろはの森」コースを進み、途中で引付き虫（動物や衣類に付いて移動する植物の種）や臭いのする植物やサルナシの実、石の下に隠れている沢蟹、イノシシの足跡やムササビの巣を観察したハイキングとなりました。参加者の中には、もう少し歩きたかったとの人もいたようです。



午後からは、巻葉笛やマテバシイのドングリ笛づくり、竹とんぼや火おこし体験を実施し、普段はひっそりと静まっているキャンプ場に笛の音、竹とんぼ飛距離大会や火おこし体験で子どもも大人も夢中になった歓声が響き渡っていました。



体験後の感想に「都会では体験がなかなかできないことを子供たちにさせていただき、目を輝かせて遊んでいました。」などと大変好評で、イベント主催者としても嬉しく感じた1日でした。

（文・写真：森とでんえん倶楽部 横山信明）